

吉村 はじめ

1968 (昭和43) 年1月1日、葛城市生まれ

現在、きんじゅどう金壽堂出版有限会社 代表取締役

新庄町立新庄北小学校、新庄町立新庄中学校、
奈良県立畝傍高等学校、立命館大学文学部卒業
滋賀県湖東町 (現・東近江市) で司書として図書館開設業務に携わる
株式会社かもがわ出版 (京都市) に勤務。情報発信の大切さを学ぶ

2002年 金壽堂出版 (大阪府枚方市) を創業

2004年 葛城市誕生に合わせて葛城市に移転し有限会社に
「葛城市市政モニター」に参加し、市政に興味をもつ

2008年 市民有志とともに「葛城市きてみてネット」活動を開始

2010年 活動が発展し、NPO法人に (2013年に法人解散)
株式会社アスク出版 (東京都新宿区) 関西事務所を開設



葛
城
市

はじめるネット

第4号

市民の声を実現

パソコンでも
スマホでも



<https://www.hajimerunet.com>

葛城市民の皆さん!

元日生まれの葛城市民、吉村はじめです。

市議会の役割とは、市民の声や願いを受け止めて行政に働きかけ、その実現に力を尽くすことだと考えます。そのためには、自らの意見をきちんと表明できる議員が、行政と一定の緊張感を持って、是々非々の議論を行うことが必要です。

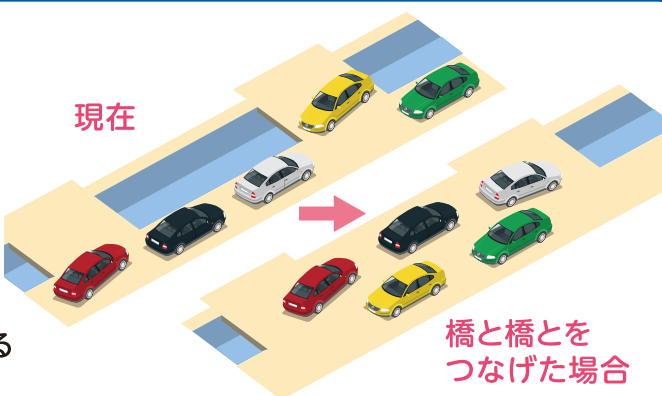
どのような施策にもメリットとデメリットがあります。その両面が市民に伝わり、市民の判断に生かされることが大切です。「市民と行政との太いパイプ役」が市議会の役割だと、私は繰り返し訴えます。



政策1 東の川、太田川にかか る橋の改良

尺土 疋田

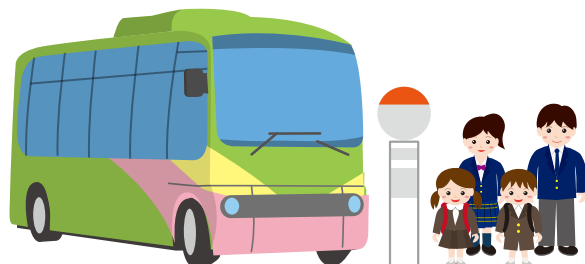
尺土駅から南へ向かう道路は、幅が狭くて車の行き違いがしづらくストレスがいっぱいです。並行する東の川、太田川にかか
る橋の改良で
行き違い箇所を増やし、ほかの狭い道へ抜ける車も減らせるように努めます。



政策2 コミュニティバスのダイヤ改良で通学の安心を

寺口 平岡 山口 笛吹 梅室 など

新庄中学校、白鳳中学校ともに、遠方や山麓地域から通学する生徒の安全確保のため、利用者や地元の声を最大限反映させたダイヤづくりの推進に努めます。また、停留所にベンチなどの設置を提案します。



政策3 「道の駅かつらぎ」を市民目線で活性化

太田

「道の駅かつらぎ」をもっと楽しくするために、開業前から市民の要望のあった施設（ドッグラン、RVパーク、家庭菜園など）の設置を提案し、活性化をはかります。



政策4 新町公園球技場を人工芝に

新町

天然芝の第1健民運動場と合わせて機能的な競技運営を図れるようにし、スポーツ少年団などの活動の拡がり
と深まりとを応援します。



政策6 屋敷山公園の地下道を優しいみちに

新庄

南藤井

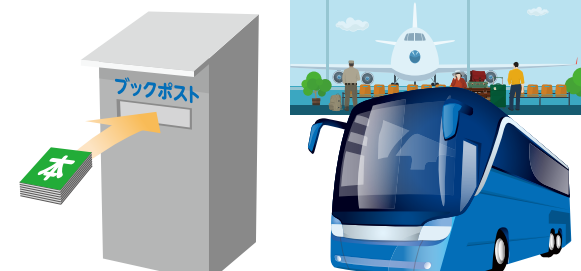
公園から新庄中学校に抜ける地下道にスロープを設置、バリアフリー化を提案します。また壁面には小中学生にアートを描いてもらい、通りたくなるみちを目指します。



政策5 尺土駅にブックポストとリムジンバスを

尺土

将来の駅前整備を念頭に、公共図書館の返却ポストの設置を提案します。また、閑空リムジンバスの尺土駅経由の実現に向けて努力します。



政策7 市民ボランティアが輝くまちに

「葛城市きてみてネット」での私自身の経験を活かし、ボランティア活動に励んでいる市民、参加したいと考えている市民が、やりがいを持って取り組むことができる仕組みづくりを行政に働きかけます。



葛城市民の声を聞きました！
前号までに
提案した
7つの政策

吉村はじめがマジメに考える葛城市政のはじめ



は
情報発信
は
市民が判断

葛城市議会が、いよいよインターネット中継を始めました。議会を市民に近づけるために、発信される内容のさらなる充実が必要です。

行政も議会も、住民が正しい情報を知り、住民自ら判断する手助けをするために、ありのままの情報を提供すべきです。



じ
次世代に
つなごう

安心して暮らせる地域社会の実現には、年配の方々から子どもたちへと世代を超えて生きる知恵を継承していくことが大切です。

二つの町の歴史と伝統を引き継いだ葛城市も、先人の知恵に学び、次の世代につなぐまちづくりを進めていかねばなりません。



め
市民目線で

税金の使い方を決めたり大型事業を進めたりするとき、行政や議会が、市民の声に謙虚に耳を傾けることが大切です。

市民が切実に望んでることは何かを、議会が真剣に議論し、行政が誠実に実行していけば、葛城市政は良い方向に向かうでしょう。

葛城市民の声を聞きました!

吉村はじめが提案する10の政策

市民の願いを行政に反映させるべく努力することが市議会の役割だと、私は考えます。皆さんの声の中から、私がとくに実現させたい10の政策を紹介します。

①はじめます! ②次世代つなぐ

③市民目線で

政策⑧ 尺土池西側の 道路整備で 安全なみちを

尺土 八川
正田



尺土駅の再開発にともない、尺土から正田東和苑に抜ける道は、交通量の増大が予想されます。用水路の機能を確認しつつ道路の尺土池側への拡幅を行い、路側帯を確保できるよう働きかけます。

政策⑨ 完全公募型 市民モニター 制度の常設化

葛城市政に興味を持つ
18歳以上の市民で
あれば誰でもなれて、
自由な立場から発言
できる市政モニター
制度の常設に努めます。



政策⑩ 市民にどしどし 情報発信!

葛城市議会のライブ中継では録画配信は行っていません。いつでも視聴することのできる「録画配信」の実現に取り組みます。また本紙などでも引き続き、市政の状況を「市民目線」で伝えてまいります。



発行 吉村はじめと始める会

吉村はじめと始める会
〒639-2101
奈良県葛城市正田379
電話&FAX
0745-69-7590

※本紙のタイトルは、まちおこし市民団体「葛城市きてみてネット」にあやかって命名しました。「きてみてネット」の名称はプロのコピーライター(正田在住)が命名くださったものです。無償の市民活動に参加くださった皆さんにあらためて敬意と感謝の気持ちを表します。

※「葛城市きてみてネット」は、過去の活動の一部をインターネットでご覧いただけます。

<http://www.kinjudo.com/kitemite/index.htm>